

美唄市地域公共交通活性化協議会 平成22年3月24日設置



美唄市

概要

美唄市は、少子高齢化や自家用車の普及等によりバス利用者が年々減少し、交通事業者はいずれも厳しい経営状況下に置かれており、現状改善には交通空白地域の解消をはじめとした、利用者の利便性を考慮した効率的な交通体系の確立が急務となっている。このため、利用者ニーズにあったバス路線の再編、交通空白地域・過疎高齢化地域における乗合タクシー導入など、地域に根付く公共交通体系の構築に向けた調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(茶志内駅、美唄駅、光珠内駅、峰延駅)
- ・北海道中央バス(市内経由1路線、都市間1路線)
- ・美唄自動車学校(市内2路線)
- ・スクールバス(11路線(うち8路線は市民混乗))
- ・市民バス(東線、西線(スクールバス混乗含))

地域公共交通の課題

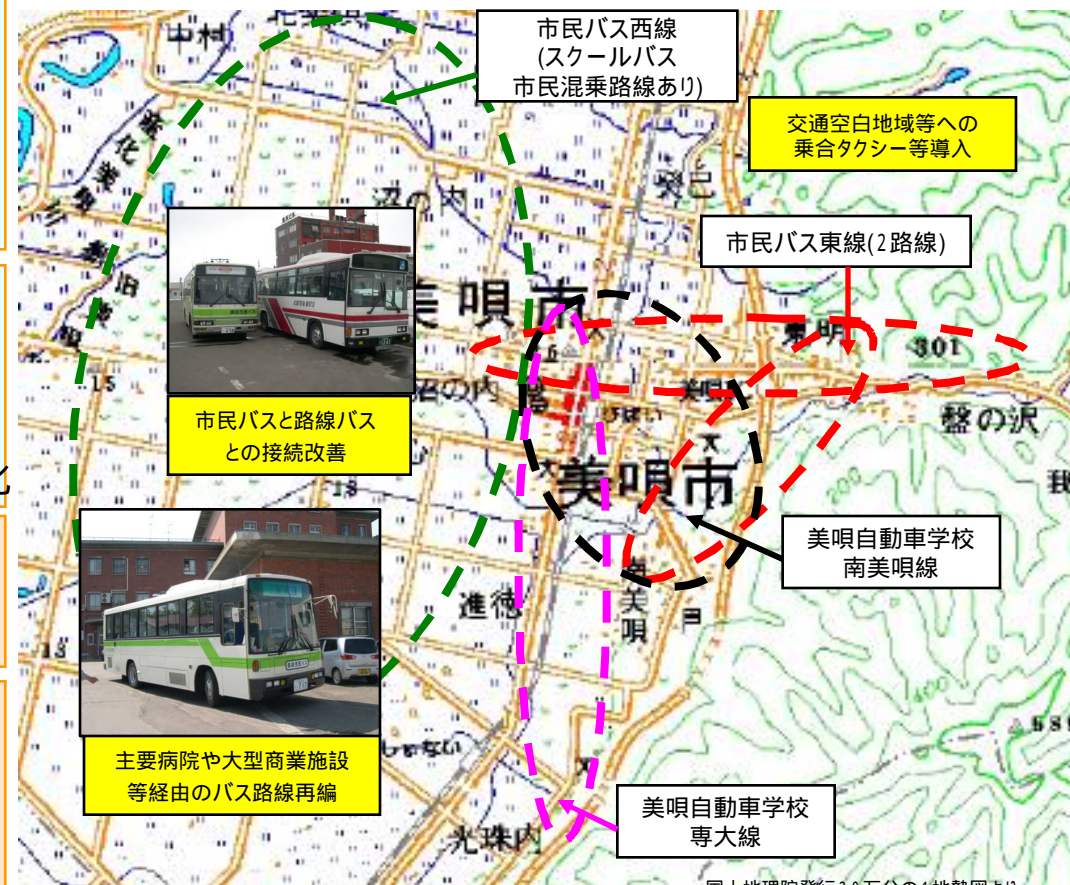
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・過疎高齢化地域、交通空白地域の存在
- ・マイカーへの依存度が高く、市民バス等の利用が低調
- ・ニーズにあった市民バス、路線バスの運行及び乗継効率化

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・主要病院や大型商業施設等を経由するバス路線の再編
- ・市民バスと路線バスとの接続改善
- ・交通空白地域、過疎高齢化地域への乗合タクシー等導入



国土地理院発行20万分の1地勢図より